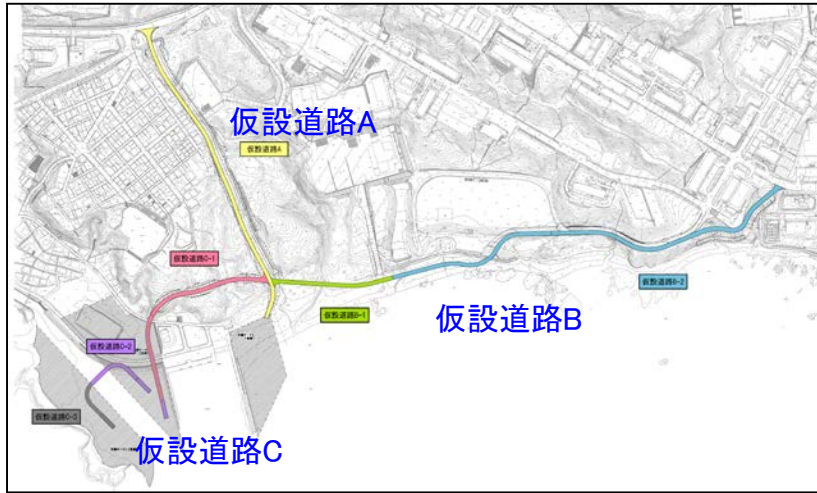
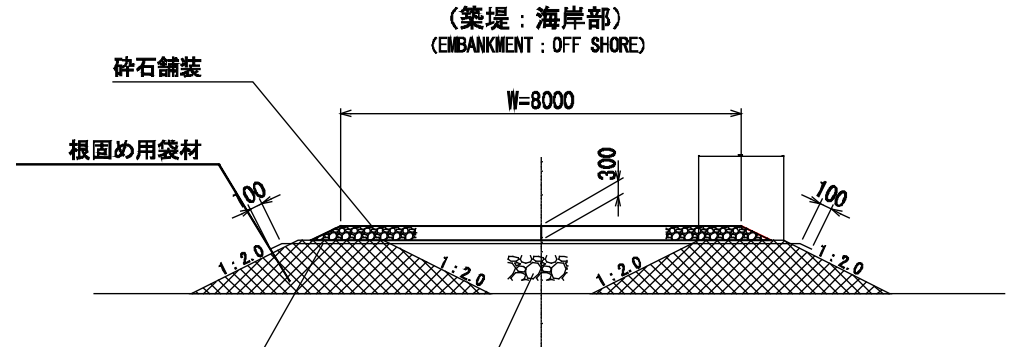


3. 計画変更の概要 (①工事用仮設道路の追加)

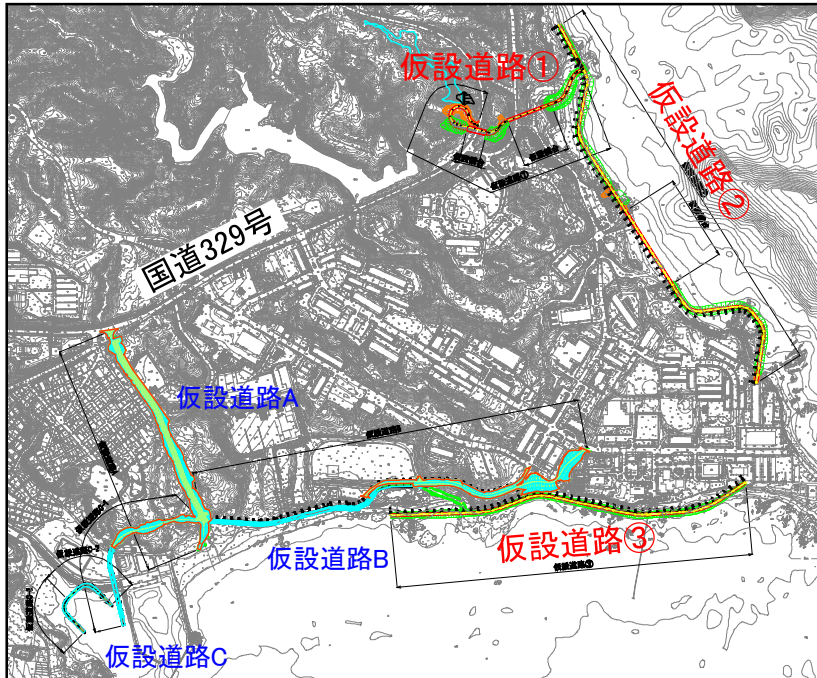
▼平面図【変更前】



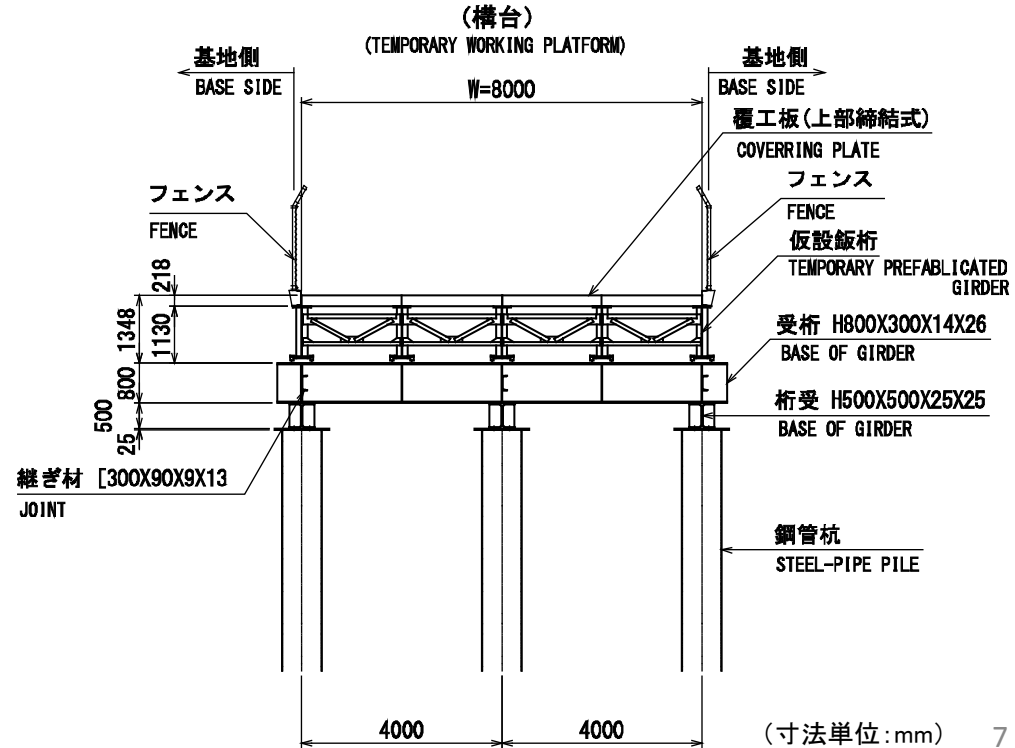
▼舗装部の標準断面図【変更後】



▼平面図【変更後】



▼仮設橋部(仮設構台)の標準断面図【変更後】



3. 計画変更の概要(②中仕切護岸の追加)

●変更に至った経緯

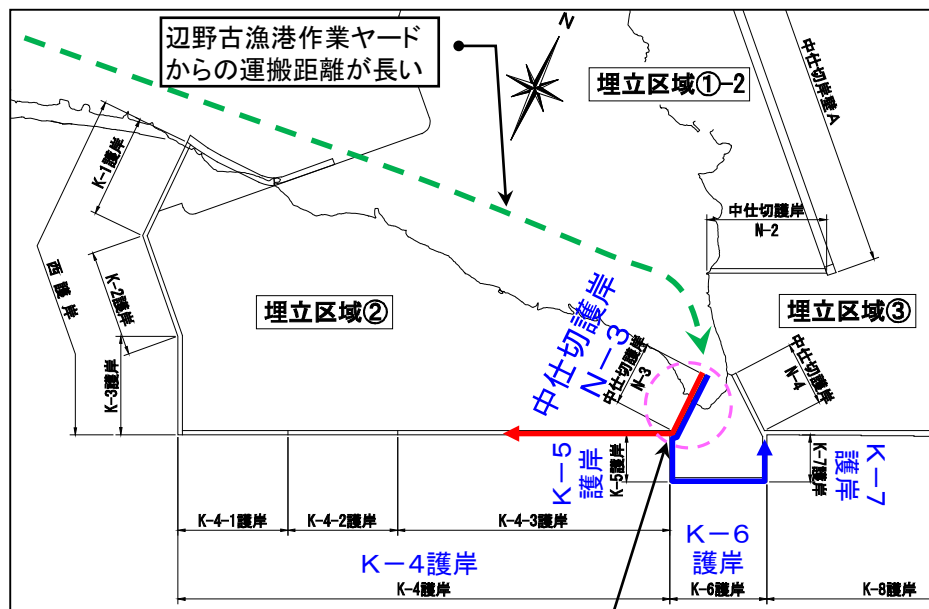
中仕切護岸N-3の課題(傾斜堤護岸K-4及びK-5の施行に伴う競合)

- ・K-5~7護岸の工事用通路、工事初期段階の施行スペースとして使用
- ・辺野古漁港作業ヤードからK-4護岸へのブロック運搬にも使用するが遠回り

●変更後の考え方

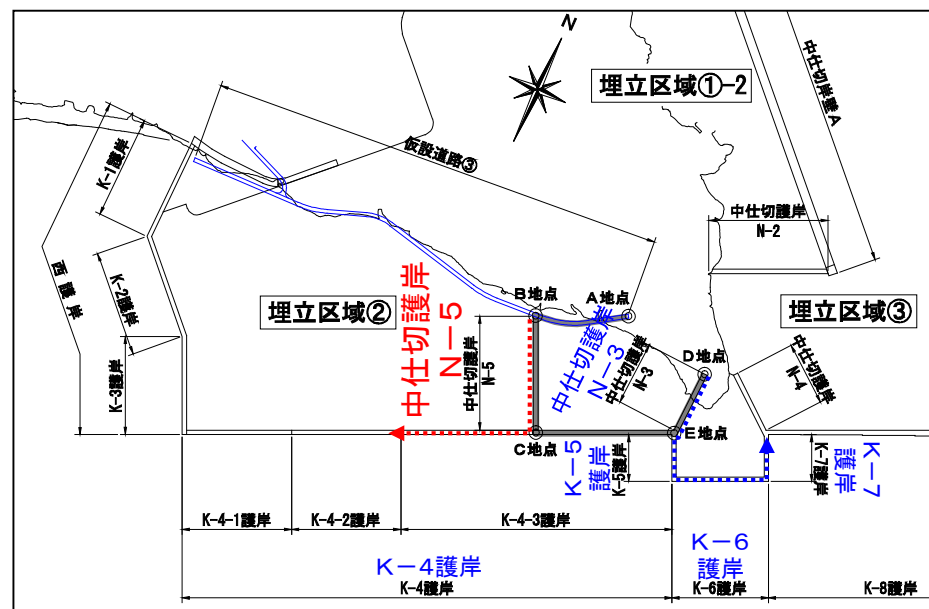
埋立区域②内にK-4護岸に向かう中仕切護岸N-5を新たに配置することにより、中仕切護岸N-3の競合を解消し、K-4護岸に係る工事を効率化

▼中仕切護岸N-3の課題



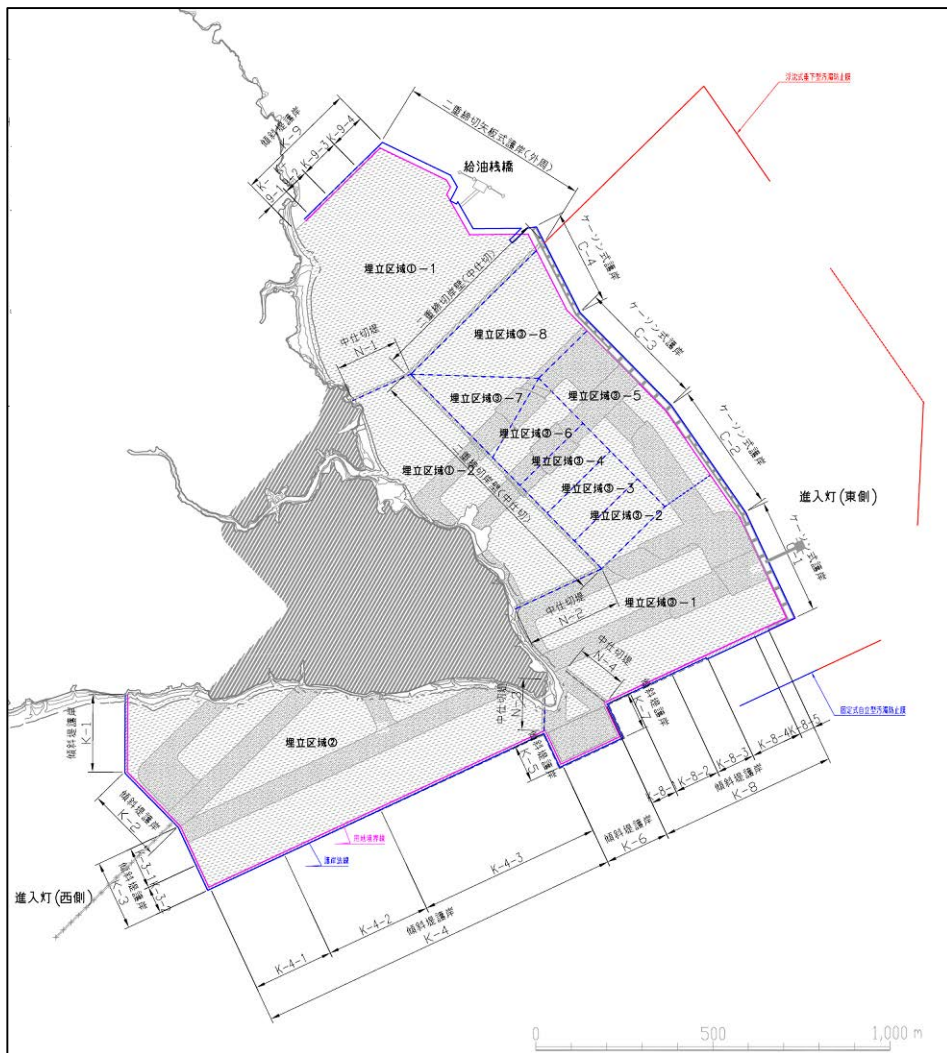
K-4護岸の築堤ライン(赤)と、K-5~7護岸の築堤ライン(青)が、中仕切護岸N-3においてラップする。

▼中仕切護岸N-5の追加

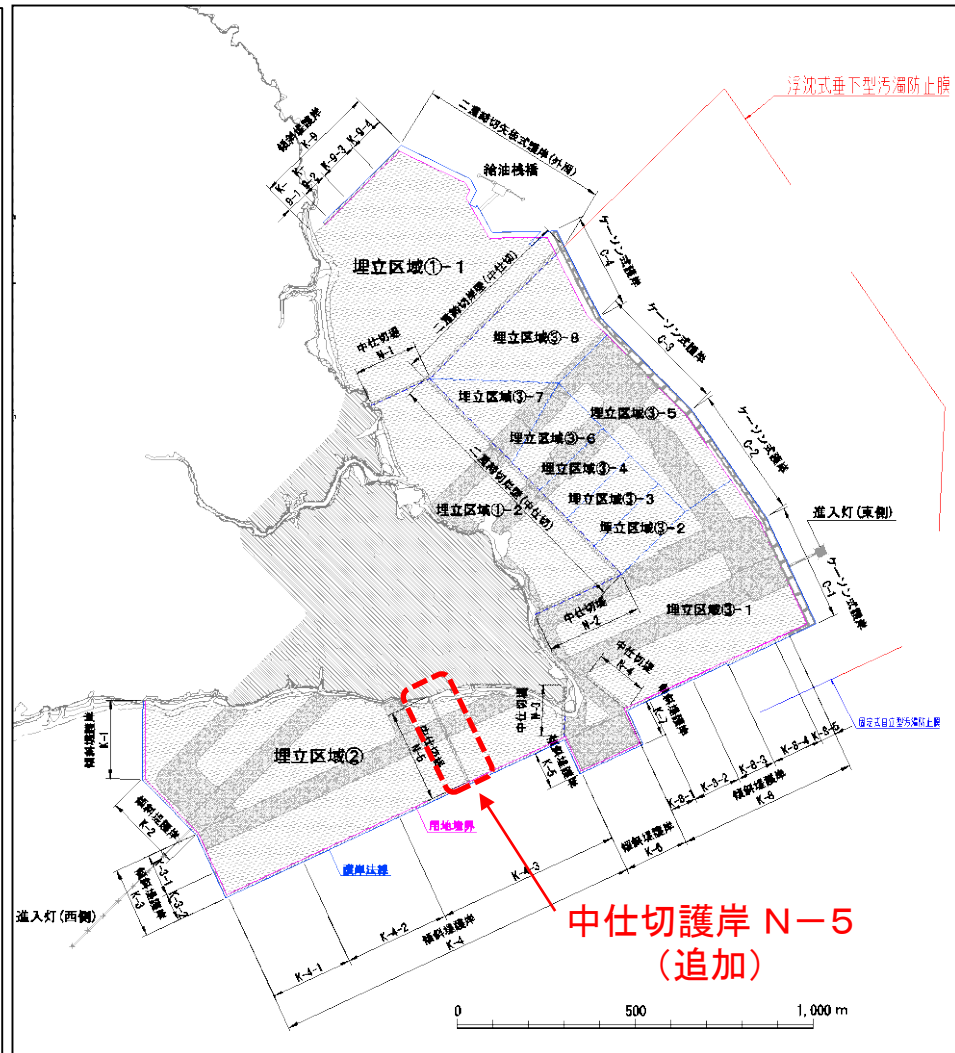


3. 計画変更の概要(②中仕切護岸の追加)

▼護岸、埋立区域等の位置及び名称【変更前】



▼護岸、埋立区域等の位置及び名称【変更後】



3. 計画変更の概要(③埋立土砂発生区域からの土砂運搬方法の変更)

●変更に至った経緯

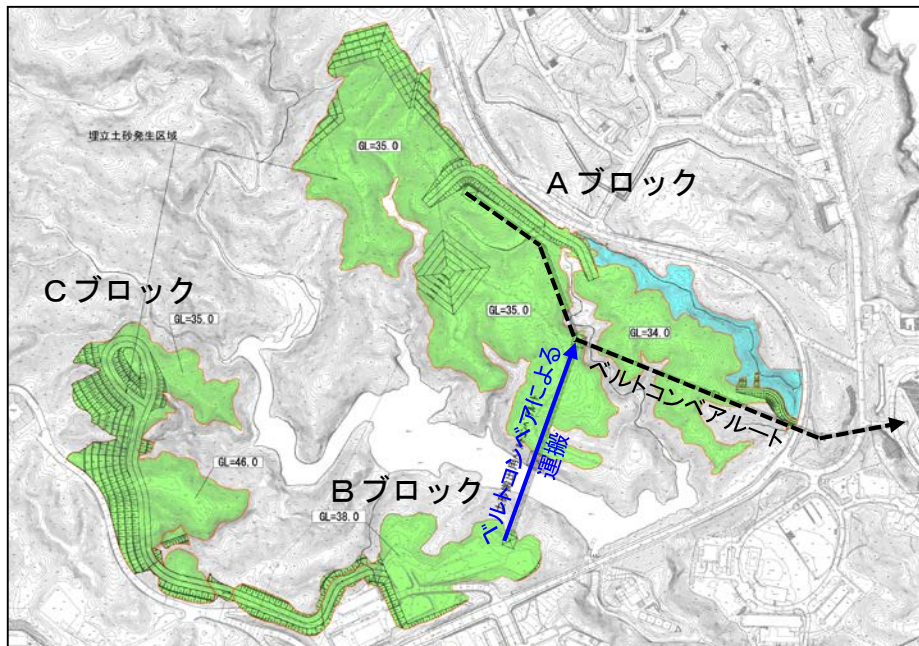
美謝川(水路)の切替えルートについては、辺野古ダム下流側の一部を現在のまま残す方針であることから、残される水路及びその周辺への環境配慮、効率的かつ着実な土砂採取の観点から、B・Cブロックの土砂運搬方法等について検討

●変更後の考え方

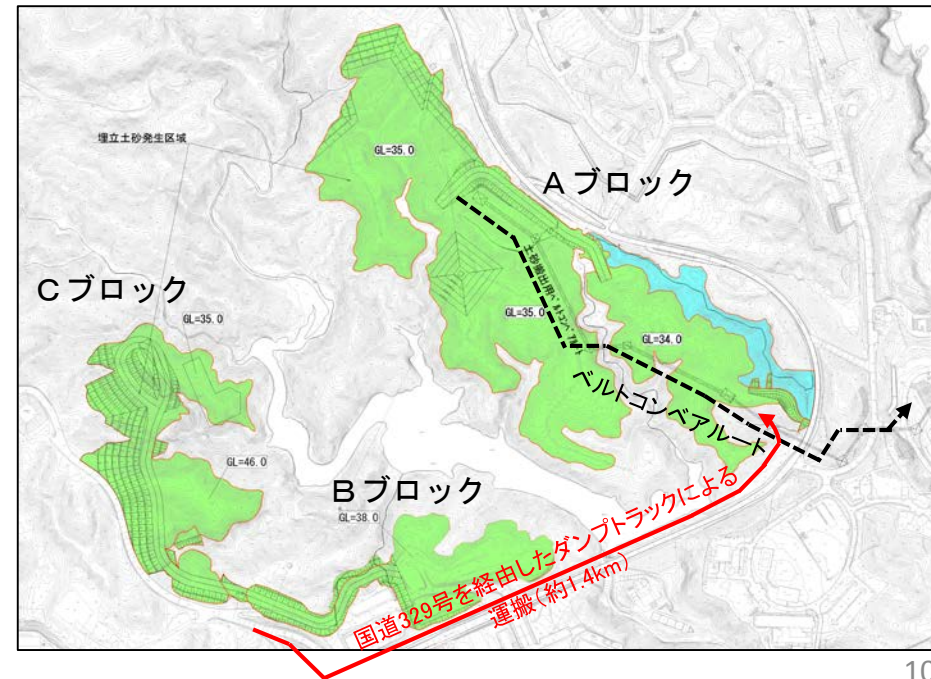
辺野古ダム間(B・CブロックからAブロックへ)の土砂運搬をベルトコンベア運搬から国道329号を経由したダンプトラック運搬に変更

- ・ベルコン設置・撤去作業等の辺野古ダム周辺での作業が減少
- ・B・Cブロックで生じる濁水の処理水の放流先は、他の場所に変更
- ・ダンプトラックはベルトコンベアよりも運搬能力は劣るものの、効率性は確保

▼埋立土砂発生区域からの土砂搬出【変更前】



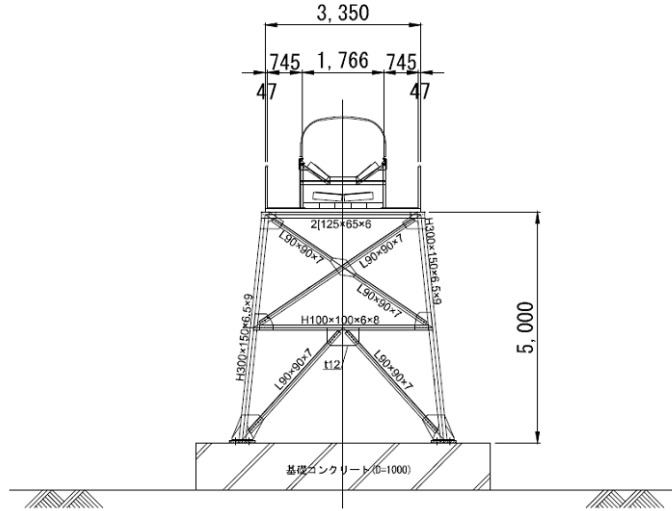
▼埋立土砂発生区域からの土砂搬出【変更後】



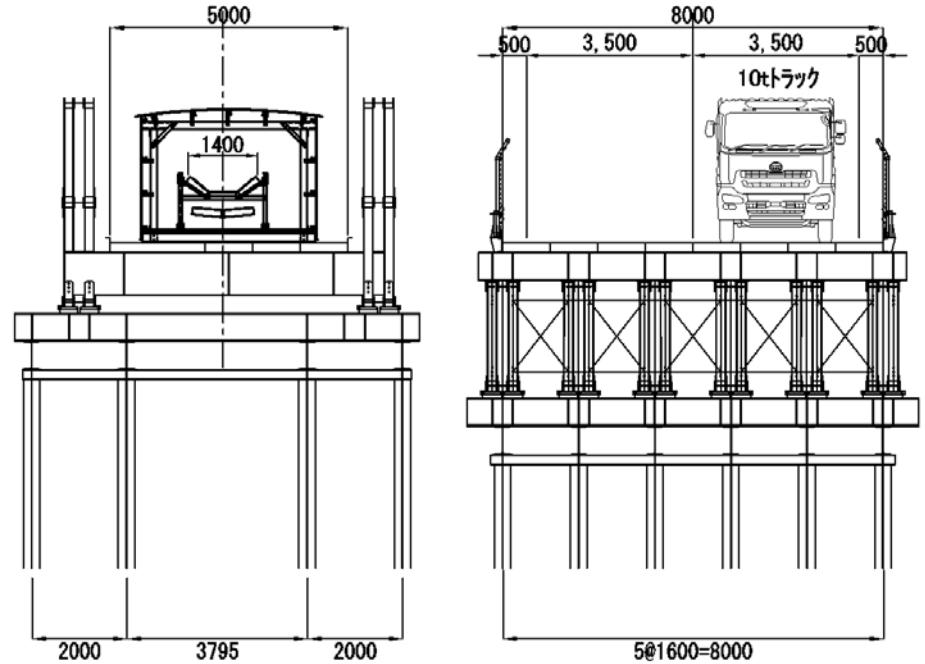
3. 計画変更の概要 (③埋立土砂発生区域からの土砂運搬方法の変更)

●ベルトコンベア概略図【変更後】

▼一般部(国道329号高架部以外)



▼国道329号高架部(工事用仮設道路①と併設)



【埋立土砂発生区域からの土砂搬出(変更後)】



【工事用仮設道路(変更後)】



3. 計画変更の概要(赤土等流出防止計画)

▼濁水処理水の放流先

工事名・区域		濁水処理水の放流先	
		【変更前】	【変更後】
埋立土砂発生区域	Aブロック	切替え後の美謝川	同左(変更なし)
	B・Cブロック	既存の美謝川(地上配管にて辺野古ダム洪水吐きへ送水し、洪水吐きを利用して放流)	近傍の既設道路側溝(工事用仮設道路A～C付近の周辺河川まで自然流下)
工事用仮設道路	A-①～A-④区域及びC区域	工事用仮設道路A～C付近の周辺河川もしくはその河口付近	同左(変更なし)
	①	—	国道329号の陸側(西側): 既設側溝(函渠で国道を横断、切替え後の美謝川付近の周辺河川まで自然流下) 国道329号の海側(東側): 切替え後の美謝川付近の周辺河川 海岸付近(②との接続部付近): 海域
	②・③	—	濁水の発生なし (洗浄した栗石等の設置のため)
美謝川の切替え		切替え後の美謝川もしくはその付近の周辺河川	同左(変更なし)

- ・ 改変区域では、変更後も「赤土等流出防止計画」に基づく対策を講じ、濁水については濁水処理プラント(凝集沈殿方式)による処理を行い、SS25mg/L以下で放流する。
- ・ 変更後は、工事用仮設道路①の改変区域において濁水処理プラントを追加で設置する。